



環境性能の向上を目指し、新たに追求するものとは？



製品の価値向上と環境負荷低減を同時に考慮し、環境性能の向上をより高めた製品を提供します。

新たな環境行動計画では、過去の延長線上にある問題を意識して取り組んでいます。

第五期環境行動計画（2007年度～2009年度）では、企業経営にインパクトを与える今後の社会動向や、第四期環境行動計画までの進捗状況を踏まえ、ハード開発分野においても、重点的に取り組んでいくべき課題が富士通グループとして挙げられています。

重点テーマには何がありますか？

ひとつは、「スーパーグリーン製品」※1の適用拡大です。

新規開発したグリーン製品のうち、「省エネ」「3R設計・技術」「含有化学物質」「環境貢献材料・技術」などの環境配慮要素がトップグループレベルである「スーパーグリーン製品」の比率を、2009年度末迄にAV20%以上にすることを設定し、環境に配慮した製品開発をさらに強化し、製品の差別化と競争力強化を図ります。

もうひとつは、環境効率ファクター※2の向上です。

従来、製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷を把握するためには、LCA手法を実施してきました。

しかし、より環境に配慮し性能の向上が図られた製品であるかを表現するために、2007年度からは製品の価値向上の要素を加味し、2つの要素を取り入れ同時に評価できる「環境効率ファクター」を導入しています。

新規開発するグリーン製品は、2005年度製品と比較して環境効率ファクターを算出します。当社のような特定分野向け製品においても、より環境負荷を低減し2009年度末迄にAV1.2を目指します。

どのような製品が生まれましたか？

携帯情報端末分野において、世界で初めてカラー電子ペーパー※3を採用したユビキタス・コンテンツ・ブラウザ「FLEPIa」がスーパーグリーン製品として認定されています。



システム事業本部長代理
今村 洋

システム事業本部は、金融/トータルイテラータ/表示システムなど公共性の高いシステムを開発しています。環境性能の向上を率先し、また、その技術的価値を社会に認知して戴くことが重要です。商品企画段階より省エネ、環境貢献材料/技術や環境効率ファクターの高い目標を定め、各DR工程でのチェック/検証により着実に開発を推進し、スーパーグリーン製品として環境貢献と、より競争価値のある製品提供に努めていきます。



FLEPIa

電子ペーパーを採用することで、一旦表示した内容を保持するのに電力を消費せず、また、書換時に消費する電力も極わずかであるため、従来の液晶ディスプレイでは不可能だった省電力化を実現しました。

現在どのような製品を開発されていますか？

金融市場向けの中で、主要な顧客チャネルである営業店窓口端末のスーパーグリーン製品化を目指し、数々の施策に取り組んでいます。

環境配慮要素は「省エネ」「3R設計」「含有化学物質」「環境貢献材料」と広範囲の適合を狙いますが、環境効率ファクターも同時に大幅な向上を目指しています。



営業店窓口端末

環境性能を追求した製品提供を推進します。

今後の予定について教えてください。

環境問題への対応策として、IT機器への要求も増えてきております。温暖化防止策、化学物質管理など多岐に渡りますが、それらを確実なものとしていきます。

富士通グループ環境行動計画の実践はもとより、持続可能な循環型社会を築けるよう、環境性能を追求した製品・サービスを幅広く提供していきます。

用語解説

●※1：スーパーグリーン製品

富士通グループの「グリーン製品」への適合を前提条件とし、「省エネルギー」「3R設計・技術」「含有化学物質」「環境貢献材料・技術」などの環境配慮要素がトップグループレベルである品。

スーパーグリーン製品
(環境配慮トップ型製品)

グリーン製品
(環境配慮強化型製品)

●※2：環境効率ファクター

環境負荷を低減しながら価値の向上を目指す、持続可能な発展の指針となりえる指標。

環境効率 = $\frac{\text{価値の向上度}}{\text{環境負荷の削減度}}$
ファクター：新規製品と基準となる製品（2005年度対象）の環境効率の比。

●※3：カラー電子ペーパー

限りなく紙に近い電子的な表示媒体。

【主な特徴】・曲げることが可能
・メモリ性があって超低消費電力
・薄くて軽い
・カラーで明るい

営業店製品開発における取り組み例

企画



企画段階。
多方面からの要求事項を検討する。

仕様検討



具体的な仕様決定段階。
要求事項を満たすための検討がされる。

試作評価



試作機評価段階。
仕様通りの性能を満たしているか確認する。